

授業科目名 (英訳)	再生医学 Regenerative medicine					担当者所属 職名・氏名	再生医科学研究所 教授・河本 宏				
配当学年	2・3 回生	単位数	2	開講年度 開 講 期	H27 後期	曜時限	火/2	授業形態	講義	使用言語	日本語
〔授業の概要・目的〕											
<p>再生医療とは、外傷や病気により失われた組織を再生させた組織によって修復しようとする医療を扱う医学分野である。人工関節や人工血管などのような工学的な材料を使う方法も含まれる。人類にとって夢であったそのような医療が、2006年に山中らによって作製されたiPS細胞の登場により加速され、まさに実現化されようとしている。日本はこの分野において世界をリードする位置にいる。本講義では、再生医学の生命科学/医学/工学的側面を理解するために、発生学、幹細胞学、移植免疫学、組織工学などを学ぶ。一方で、再生医学は倫理的な問題点、医療コストなどのいろいろな社会的な問題点も内包しており、講義では、再生医学が関連する社会的な意義/責務、問題点についても論じる。</p>											
〔到達目標〕											
<p>再生医療の倫理的側面と医療経済的側面を理解する。すなわち、iPS細胞やES細胞を用いる再生医療が内包する倫理的な問題点について、さらに日本における成長産業としての再生医療の現状と展望をよく理解することを目標とする。</p>											
〔授業計画と内容〕											
<p>【第1回】 イントロダクション 【第2回】 再生医療と免疫学 【第3～6回】 幹細胞学/発生学/細胞分化/組織工学 【第7回】 再生医療の実現化に向けた取組み（概論） 【第8～13回】 再生医療の実現化にむけた取組み 【第14～15回】 社会の要請、倫理的問題、将来展望</p> <p>* 授業については、教員及び受講者間の討議を適宜採り入れながら進める。 ** 上記のほか、テーマに関連した講演者に依頼して、講義を行うこともありうる。</p>											
〔履修要件〕											
特になし											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
レポートにより評価する。レポートは授業ごとに提出し、講師が採点する。欠席した場合は0点とする。平均60点以上で単位と認定する。											
〔教科書〕											
印刷資料を配布する。											
〔参考書等〕											
必要に応じて随時文献を紹介する。											
〔授業外学習（予習・復習）等〕											
〔その他（オフィスアワー等）〕											
kawamoto@frontier.kyoto-u.ac.jp											